

研究会活動紹介

OS

システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

河野 健二（慶應義塾大学）

本研究会の略称がOS研であるせいか、少し分野の違う方から見るとオペレーティングシステム(OS)「だけ」が研究対象だと思われることが多いようです。実際には、システムソフトウェアというもっと広い分野を対象としています。システムソフトウェアは裏方ソフトウェアの総称で、なかなかその存在が外から見えないソフトウェアです。そのせいで、分野の魅力を伝えるのに苦労しています。

しかし、今、話題となっているアプリケーションの裏方を覗いてみると、システムソフトウェア研究から生み出された新しい技術が潜んでいます。システムソフトウェアの進歩なしに新しいサービスを生み出すのは難しいと言っても過言ではないでしょう。

たとえば、検索エンジンやソーシャル・ネットワーキング・サービスなども、その裏方では、想像を絶するほど大規模で複雑なシステムソフトウェアが稼働しています。キーバリューストアやMap-Reduceなど、他分野でも活用されている技術の多くは、システムソフトウェア研究にその起源があり



ます。当たり前のように使われるようになったクラウド・サービスも、その心臓部には仮想化技術という、システムソフトウェア研究の大きな成果が使われています。

システムソフトウェア研究の原動力となるのは新しいアプリケーションだけではありません。メニーコアやGPGPUなど、新しいハードウェアの潮流が出てくれば、そこには必ず面白い研究テーマが潜んでいます。

コンピュータの使い方が広がっていくにしたがって、システムソフトウェアの対象も広がっていきます。こうしたダイナミックな動きを先導し、尖った研究成果を生み出そうと、シンポジウムや年4回の研究会を開催し、さらに国内外の著名な研究者・技術者に講演をしていただいています。興味のある方は、ぜひ、ご参加ください。

CE

コンピュータと教育研究会

角田 博保（電気通信大学）

本研究会はその名の通りコンピュータと教育にかかわる研究全般を対象としています。コンピュータと関係ない教育とか、コンピュータと関係するが教育的側面がないものは対象とはなりません。情報そのものを教育すること（情報教育）と、教育自体へ情報技術を活用すること（教育の情報化）が主な研究対象となっています。

人を対象とするところから、要素技術の研究とは違い、なかなか独創性を出しにくい分野でもあります。有効性で勝負することになります。定量的な評価が出しにくいので、質的な評価手法も取り上げられます。そのほかに、実際に行われている教育の報告（実践報告）も大いに重要であると考えています。高校での教科「情報」に関する実践報告も多く取り上げられています。隠れたる優れた教育実践をぜひ公開していただけないか。

研究発表会は年5回ですが、年度末に2回集中

しています。卒業を控えた研究成果発表の増加に対応しています。初中等教育の先生の発表・参加も考慮して、おおむね土日開催となっています。開催地は大体東京近郊2回、遠隔地3回で、御当地巡りをしています。今年度は埼玉、福島、熊本、東京、大阪でした。毎回懇親会を企画し、多数の参加者のもと、土地の名物をつまみながら、教育談義が進むといったところです。年1回研究論文セッションを設け、査読付き論文として投稿しようという発表論

文を対象に、論文作成上の助言をさせてもらっています。研究成果の公表の場としては、年に1回の特集号が定着しています。現在、その発展形を企画しているところです。また、毎年8月に地名にSのつくところで開催される2泊3日の泊りがけシンポジウム SSS20xx があります (Summer Symposium in S???)。来年度の SSS2013 は Shizukuishi にて行います。素敵な温泉のあるところです。ぜひお越しください。



CAMPAIGN OF JIP FOR FREE PUBLICATION CHARGE

Journal of Information Processing

The Editorial Committee of the Journal of Information Processing (JIP) is very pleased to announce one year extension of the campaign of free publication. The publication fee is not charged for the accepted papers submitted by July 31 2013 regardless of authors' membership. It would be grateful if you could take this opportunity and submit your papers to the flagship international journal, JIP.

JIP (Journal of Information Processing) に採択された英文論文の掲載料を無料にするキャンペーンを行っています。

対象は 2013 年 7 月 31 日までに投稿された英文論文です。これは、非会員による投稿論文にも適用されます。

このキャンペーンを利用して、ぜひ多くの英文論文をご投稿ください。 http://www.ipsj.or.jp/english/jip/submit/prms_side.html

情報処理学会 論文誌ジャーナル, JIP (Journal of Information Processing) では、随時、一般論文・テクニカルノートの投稿受付をいたしております。

また、特集号の論文募集も数多くいたしておりますので、ぜひ学会 Web ページの最新情報をご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/journal/index.html>, <http://www.ipsj.or.jp/english/jip/index.html>

Journal of Information Processing (JIP) は、インターネット上のオンライン媒体 J-STAGE にて季刊発行しています。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ipsjjip/>

Contact to Technical Activity Section, Information Processing Society of Japan (IPSI) E-mail: editt@ipsj.or.jp